

東日本大震災に伴う本復旧工事進捗状況

あなたに、ベスト・ウェイ。



東日本大震災本復旧工事の進捗状況①



◆本復旧概要

平成23年3月11日の東日本大震災で被害を受けた高速道路の本復旧工事は、昨年9月より順次着手し、現在最盛期を迎えている。

《舗装工事進捗率》

- ◆平成24年9月末の進捗率74%(9月末見込み)
- ◆平成24年12月完了を予定



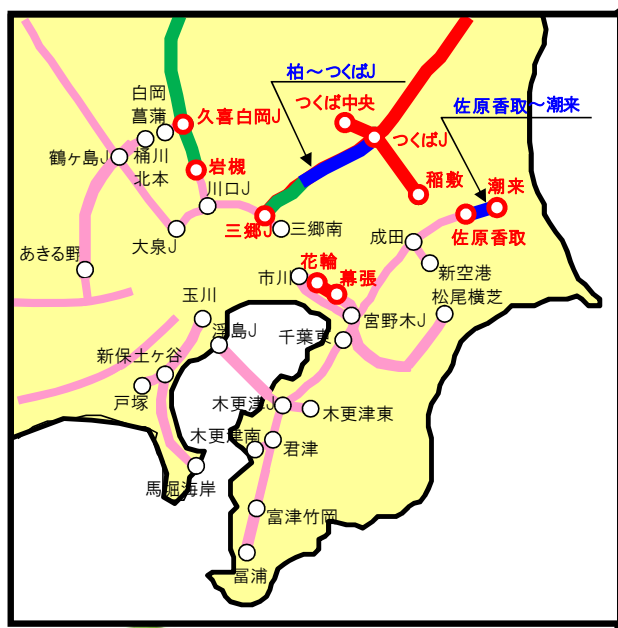
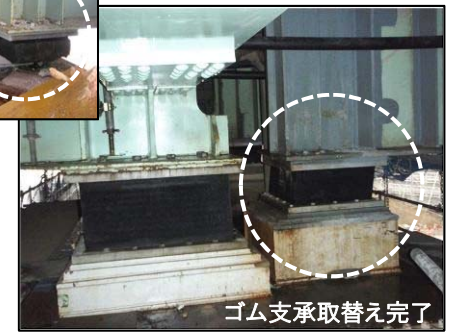
東日本大震災本復旧工事の進捗状況②



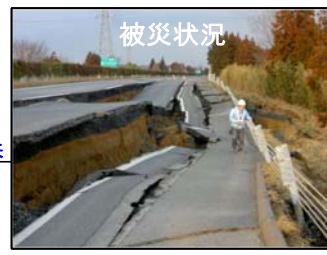
【東北道】平泉前沢IC～水沢IC間(上)



【仙台東部道路】
仙台東IC～
仙台港北IC間(上下)



【東北道】矢吹IC～須賀川IC間(上)



【常磐道】水戸IC～那珂IC間(上)



- 本復旧工事区間
- 舗装工事完了区間
- 舗装工事対象外



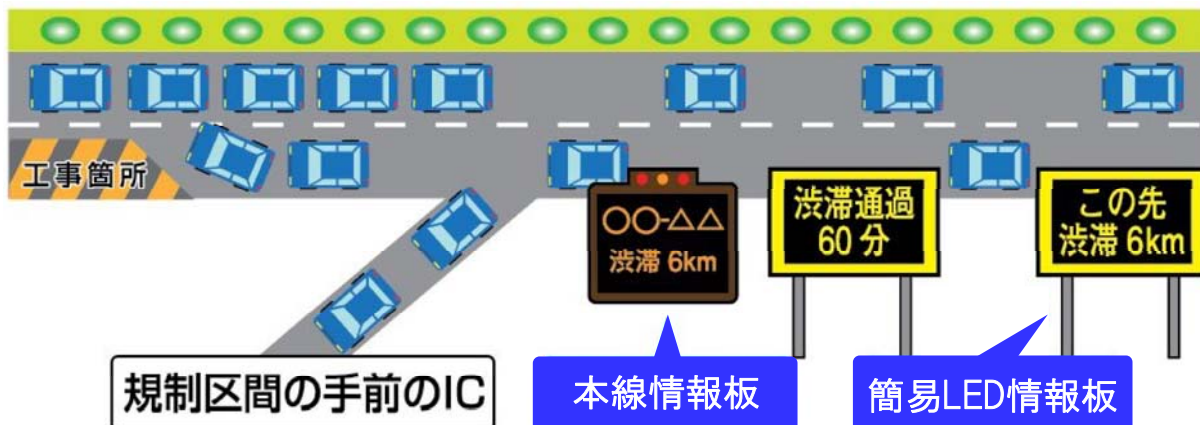
本復旧工事の渋滞対策《参考》

《渋滞対策》

- ◆本線情報板、ハイウェイラジオによる情報提供の他、**簡易LED情報板による渋滞延長や渋滞通過時間等の情報提供**を行い、渋滞後尾での追突事故防止対策や渋滞緩和対策を実施
- ◆工事規制は、「ドラぷら」にて規制箇所の予定や渋滞実績等の情報提供を実施
- ◆平成23年9月5日から平成24年9月21日までの本復旧工事期間における渋滞は、1日あたり約3回の渋滞が発生、平均渋滞長約3km、最大渋滞長約18km(平成24年9月14日 東北自動車道 矢吹IC～黒磯板室IC間 下り線)



工事渋滞の情報提供概要



- ◆簡易トラカンを規制手前より約2km間隔に配置し、渋滞状況を24時間監視し、本線情報板や簡易LED情報板で渋滞状況を提供



本復旧工事の内容《参考》

◆本復旧工事とは、応急復旧で路面段差を緩やかにすりつけた箇所を被災前の道路縦断に復旧し、震災前の高速道路機能へ回復させるもの

【参考】本復旧工事概要

舗装路面

■仮復旧

緊急交通路の確保

- ・震災直後の路面段差や陥没に対し、土のうや砕石を用いて緊急に対策を行い最低限1車線を確保
- ・緊急車両や救援物資、人道支援車両など被災地への緊急交通路として確保

■応急復旧

段差すり付け、陥没補修

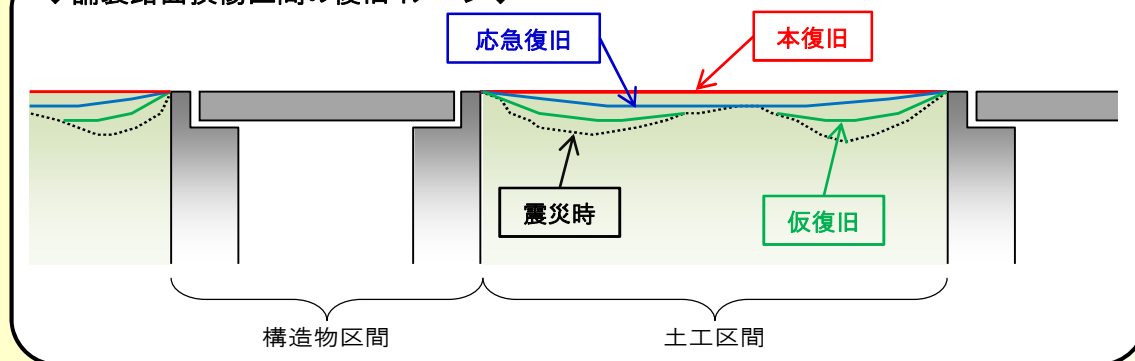
- ・構造物前後の沈下や空洞、亀裂などには路盤の置換えにより舗装の耐久性を確保
- ・路面の段差やうねりを密粒アスファルトでなだらかにすり付けることにより走行環境を確保

■本復旧

舗装の縦断修正

- ・本復旧(完成形の復旧)は、現状の縦断線形要素を考慮したすり付け勾配で復旧

◆舗装路面損傷区間の復旧イメージ◆



仮復旧の状況(H23年3月撮影)



応急復旧の状況(H23年3月撮影)



本復旧施工状況(H23年11月撮影)